

# 第5回かわさきリノベーションまちづくり検討会 開催概要

川崎駅東口周辺を中心に、空家などの遊休化した不動産や、潜在的な地域資源を活用して課題解決を図る「リノベーションまちづくり」の検討会を行っています！

## 第5回検討会

日時：平成29年7月21日（金）  
17時00分～20時00分  
場所：川崎ルフロ1階シンデレラステップス

## メインテーマ：公共空間の利活用について

テーマに合ったゲストのレクチャーと、参加市民を交えた意見交換を行いました。



まず、これまでの検討状況を振り返ったあと、Open-A Ltd.の馬場正尊氏から、N.Y.のプライアントパーク等の事例に学ぶ、日本における公園の活用方法として、民間主体のPPPエージェントによる管理運営などについてや、社会実験・一時利用許可・指定管理などの3つの公共空間活用に使えるカードについて、そして、Tarakusa 株式会社の柿原優紀氏から、公園でウエディングを行うまでの経過や実例をお話いただきました。



その後、(株)リノベリングの嶋田洋平氏から、九州小倉における公共空間活用事例や、川崎における構想イメージについてのお話をいただいた後、委員及び参加者の意見交換を行いました。



- ・南池袋公園は地下に自転車駐輪場を設置して稼いでいる。民間に稼がせる仕組みを。
- ・川崎は懐が深く、比較的寛容なまちだと思う。今も、ストリートミュージシャンが大音量で歌っているが、川崎北部地域だとすぐ苦情が入るのでは。
- ・地域ごとに、活躍する人もかなり出てきた。
- ・意外と、外国人にとって川崎は住みやすく、海外でも評判なのでは。
- ・行政は、民間の人がやりたいことを上手く応援して欲しい。規制を上手く外して欲しい。
- ・川崎は場所ごとに文化が違う。
- ・まちづくりにおいて、もっと行政と連携していきたい。
- ・川崎は寛容。「見た目は怖目、中身はお茶目。」
- ・川崎には、民家園や国際交流センターの茶室など、素敵な公共施設もある。ぜひ活用して欲しい。
- ・医療から予防へという流れの中、診療所で何かできないかと思っている。→病院でお誕生会をやったらどうか。
- ・小田急線の複々線化によって最も恩恵を受けるのは川崎の地域。ぜひまちづくりをやってきたい。
- ・皆が続けられる動機としては、楽しいかどうか重要。痛みながら…では続かない。
- ・エリアが広すぎるとダメ。半径200mくらいのエリアで。
- ・溝の口にフラッグシップとなる店を出したい。

## 【出席者】（敬称略）

専門家	嶋田 洋平	(株)リノベリング代表取締役
ゲスト	馬場 正尊	Open-A Ltd. 代表取締役
	柿原 優紀	Tarakusa 株式会社 代表
通年委員	石井 秀和	(株)南荘石井事務所代表取締役
	田村 寛之	川崎経済新聞編集長<欠席>
テーマ委員	北村 岳人	川崎市拠点整備推進室担当課長
	沖山 浩二	川崎市拠点整備推進室課長補佐

問合せ：川崎リノベーションまちづくり実行委員会  
(川崎市まちづくり局総務部企画課)  
電話：044-200-2716  
メール 50kikaku@city.kawasaki.jp  
(川崎市まちづくり局拠点整備推進室)  
電話：044-200-3027  
メール 50kyoten@city.kawasaki.jp